

日本人の忘れもの 第2部

「日本人の忘れもの」記念フォーラム in 東京

いけばなパフォーマンス

●いけばなパフォーマンス
東日本大震災では多くの方が被災され、今も大きな悲しみを抱いておられます。そうした方々のための、神仏なり、人々の思いがここに降りてきてくださいますように、という思いを込め、本日のいけばなパフォーマンスは、まず依代として青竹を真っすぐ立て、それにアオカエデ、スモークツリー、ダンチク、アジサイ、テッセン、オトメサヤクリを合わせました。
カエルの手、カエルデが振れたといわれるカエデは、初夏にアロベラをつけた、かわいらしい果実を付けます。新緑に合う

大津光章氏

●大津光章氏
日本人は仏教が伝来する前から、万物に「八百萬の神」を見いだし、神が降臨する依代として樹木や石を祭ってきました。正月に松、竹、梅などを配して作られる門松飾りはその代表です。また、桜の「サ」は田の神、「アヲ」は産つまり田の神が降りてこられる場所、酒と食べ物も供え、五穀豊穡を願ったのが、桜の木で花見をし



●おおつこうしよう
1954年、京都市生まれ。華道都末生流五世宗元・大津隆月の高門として生まれ、86年6世宗元を継承。浄土宗高僧院19世住職。(公財)京都市芸術文化協会副理事長。(公財)日本いけばな芸術協会常任理事などを務める。古典と現代の接点を求め、野外、演劇、など多様な試みに挑戦している。

「いま、発信する京都のこころ」

●パネルディスカッション
大津さんは、いけばなの家元であると同時に僧侶でもいらっしゃいます。頂法寺(京都市中京区)、大覚寺(京都市右京区、仁和寺(京都市右京区)など、京都には華道と関わりが深いお寺があります。
大津●いけばなの起源は、仏教の伝来とともに僧侶が仏前に花を供えた、「供花」がルーツと伝えられています。私が住職を務める浄土宗高僧院(京都市左京区)は、1612(慶長17)年の創建ですが、1835(天保6)年の都末生流創流以来、歴代の住職が家元を継承し、私で6世を数えます。約40年前、市の都市計画整備を受け、東山区三条阪駅の近くから、左京区岩倉の現在地へ移転しました。
いけばなは花木の命を敬つところから始まります。命が宿るといわれる数珠を左手で握りながら、右手に持ったはさみで花の命を絶つのは矛盾するようですが、植物も含め、自然から命を頂かずに生きられる人間はいません。自然に生かされても、現代人は経済効率ばかり重視し、自然への畏敬の念や節度を忘れてしまつて見えます。
大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。

万物に「八百萬の神」見いだす

「生きている古文書」となっています。献立一つとっても何日に何を食べると決まっていた。私が生まれた時代には、こうした食習慣は無くなりましたが、商売をしていた頃は使用人が多くいましたから、献立が決まるといふのは無駄も出にくいですが、大変合理的であったのです。今の暮らしでは、食習慣は大きく変わりましたが、「始末した暮らし」の精神を見失わないよう、先祖が文書に書き残して、今でも私たちが家族を導いてくれているように思います。

大津光章氏

●大津光章氏
華道都末生流家元
大津光章氏は、いけばなの家元であると同時に僧侶でもいらっしゃいます。頂法寺(京都市中京区)、大覚寺(京都市右京区、仁和寺(京都市右京区)など、京都には華道と関わりが深いお寺があります。
大津●いけばなの起源は、仏教の伝来とともに僧侶が仏前に花を供えた、「供花」がルーツと伝えられています。私が住職を務める浄土宗高僧院(京都市左京区)は、1612(慶長17)年の創建ですが、1835(天保6)年の都末生流創流以来、歴代の住職が家元を継承し、私で6世を数えます。約40年前、市の都市計画整備を受け、東山区三条阪駅の近くから、左京区岩倉の現在地へ移転しました。
いけばなは花木の命を敬つところから始まります。命が宿るといわれる数珠を左手で握りながら、右手に持ったはさみで花の命を絶つのは矛盾するようですが、植物も含め、自然から命を頂かずに生きられる人間はいません。自然に生かされても、現代人は経済効率ばかり重視し、自然への畏敬の念や節度を忘れてしまつて見えます。
大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。

大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。
大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。
大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。

諏訪蘇山氏

●諏訪蘇山氏
公財財団法人奈良屋舎杉本家財団学芸部長
吉澤健吉
●コーデネーター
大津光章氏
●コーデネーター
大津光章氏
●コーデネーター
大津光章氏



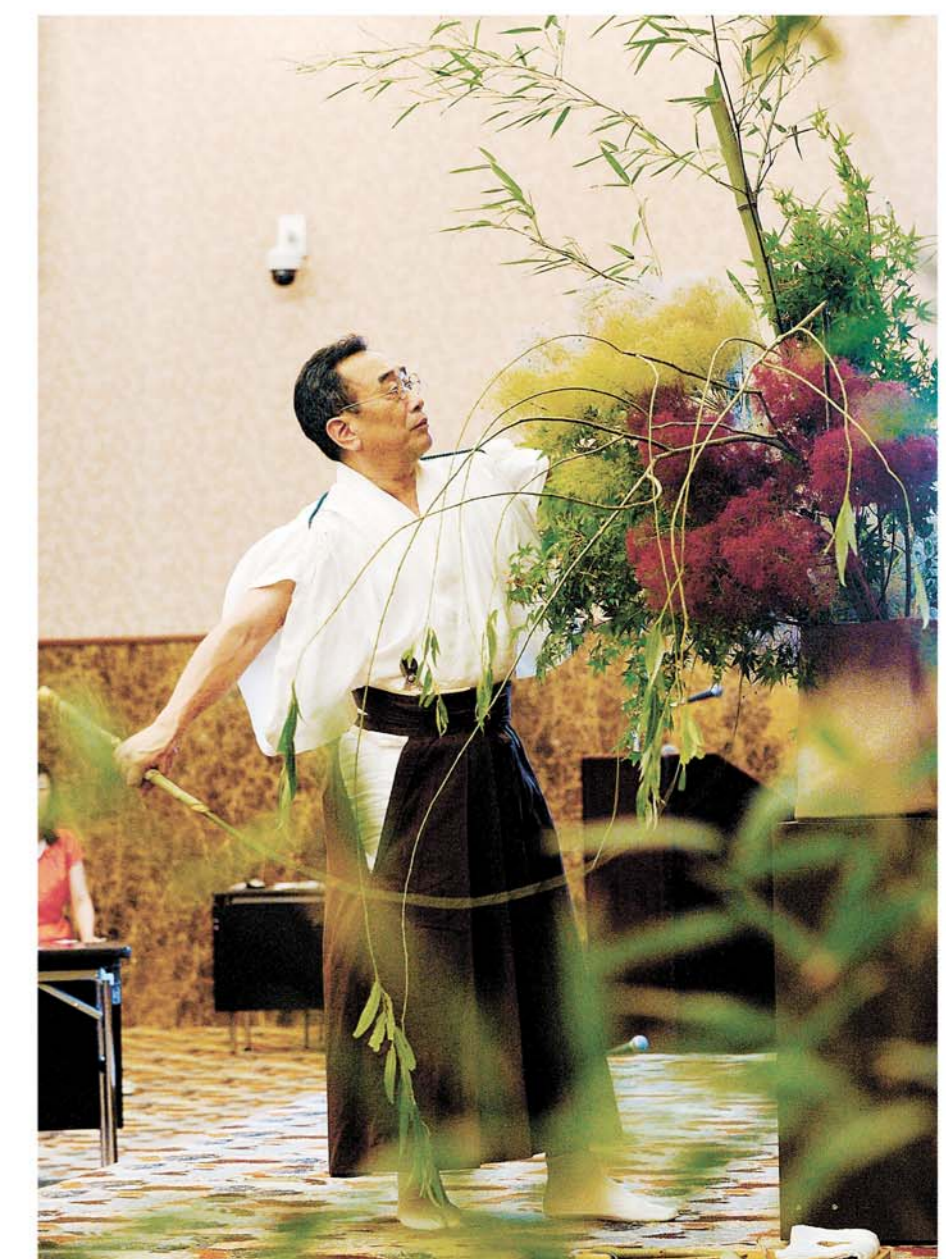
●すわそざん
1970年、京都市生まれ。京都市立陶磁美術工芸専攻で造形学を専攻。京都市立陶磁美術工芸専攻で造形学を専攻。京都市立陶磁美術工芸専攻で造形学を専攻。

大津光章氏

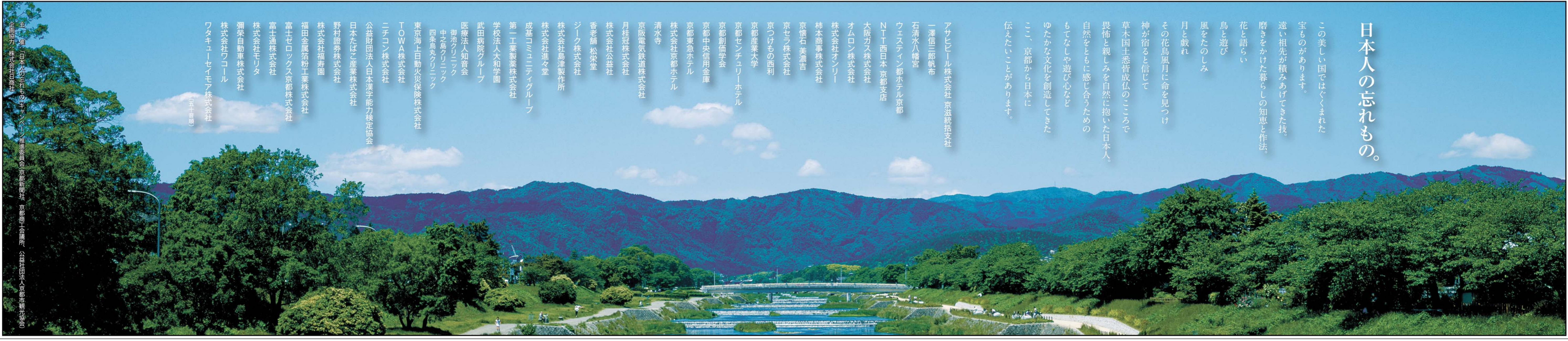
●大津光章氏
華道都末生流家元
大津光章氏は、いけばなの家元であると同時に僧侶でもいらっしゃいます。頂法寺(京都市中京区)、大覚寺(京都市右京区、仁和寺(京都市右京区)など、京都には華道と関わりが深いお寺があります。
大津●いけばなの起源は、仏教の伝来とともに僧侶が仏前に花を供えた、「供花」がルーツと伝えられています。私が住職を務める浄土宗高僧院(京都市左京区)は、1612(慶長17)年の創建ですが、1835(天保6)年の都末生流創流以来、歴代の住職が家元を継承し、私で6世を数えます。約40年前、市の都市計画整備を受け、東山区三条阪駅の近くから、左京区岩倉の現在地へ移転しました。
いけばなは花木の命を敬つところから始まります。命が宿るといわれる数珠を左手で握りながら、右手に持ったはさみで花の命を絶つのは矛盾するようですが、植物も含め、自然から命を頂かずに生きられる人間はいません。自然に生かされても、現代人は経済効率ばかり重視し、自然への畏敬の念や節度を忘れてしまつて見えます。
大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。

自然への畏敬の念忘れた現代人 目に見えない存在感じつつ成長 質素儉約に務める商家の暮らし

大津氏 自然への畏敬の念忘れた現代人
諏訪氏 目に見えない存在感じつつ成長
杉本氏 質素儉約に務める商家の暮らし
大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。
大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。
大津●「いけばな」は、ご家族全員がものづくりに関わる環境で育ち、今も清水焼発祥の地・五条坂にお住まいです。



「日本人の忘れもの」記念フォーラム in 東京



日本人の忘れもの。

この美しい国では、くまられた宝ものがあります。
遠い祖先が積みあげてきた技、磨きかけた暮らしの知恵と作法、花と語り、鳥と遊び、風をたのしみ、月と戯れ、その花鳥風月に命を見つけ、神が宿ると信じて、草木国土悉皆成仏のころで、畏怖と親しみを自然に抱いた日本人、自然とともに感じ合うための、もてなしや遊び心など、ゆたかな文化を創造してきた。ここ、京都から日本に、伝えたいことがあります。

- アサヒビール株式会社 京滋控投支社
- 一澤信三郎帆布
- 石清水八幡宮
- ウエステイン 都ホテル京都
- N.T.西日本 京都支店
- 大阪ガス株式会社
- オムロン株式会社
- 株式会社ソニー
- 柿本商事株式会社
- 京懐石 美濃吉
- 京セラ株式会社
- 京つづきの西利
- 京都産業大学
- 京都センチュリーホテル
- 京都創価学会
- 京都中央信用金庫
- 京都東急ホテル
- 株式会社京都市ホテル
- 京つづきの西利
- 京都産業大学
- 京都センチュリーホテル
- 京都創価学会
- 京都中央信用金庫
- 京都東急ホテル
- 株式会社京都市ホテル
- 成基コミュニケーション
- 第一工業製薬株式会社
- 学校法人大和学園
- 武田病院グループ
- 医療法人知音会
- 御池クリニック
- 中島クリニック
- 四葉丸クリニック
- 東京海上日動火災保険株式会社
- TOWA株式会社
- 二チン株式会社
- 公益財団法人日本漢字能力検定協会
- 日本たばこ産業株式会社
- 野村證券株式会社
- 株式会社福寿園
- 福田金属治粉工業株式会社
- 富士セロックス京都株式会社
- 富士通株式会社
- 株式会社モリタ
- 湘楽自動車株式会社
- 株式会社ワコール
- ワタキューセイモア株式会社